

公表

## 多機能型事業所（児童発達支援・放課後等デイサービス）における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスあんじゅ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名（うち兄弟児2家族）	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムに関しては、職員で意見を出し合い、5領域を意識した活動を組み込むようにしています。創作・SST・運動・言葉・感覚など、子どもたちのレベルに合わせて組み立てるようにしています。	週1月曜の午前中の時間を使い、会議や情報共有の場として時間を設定し、プログラムの立案・準備等に取り組んでいます。職員の得意分野を活かしたり、逆に苦手な部分も仲間の協力を仰ぎながら進めていき、職員の成長にも繋がっていると思います。	子どもたちの興味関心を探り、より興味を持って取り組めるプログラムを計画実施できるよう、情報収集に努めていきます。
2	独自の発達チェックリストを活用し、子どもたちの成長段階が今どのくらいにあるのか、どういう訓練等を進めていったらよいかを、全職員が確認できるようにしています。	連絡帳に、利用の様子をコメントだけでなく、写真にてお知らせするようにしています。療育中の取り組んでいるプログラムや活動の様子、自由遊び時の様子などを写真を通して保護者様にお伝えするようにしています。医療機関で行われた発達検査の結果も参考にさせていただいております。	積極的に研修などへの参加を促し、療育技法などについての更なる職員のスキルアップを目指します。

3	地域とのつながり・行事への参加・地域で活動されている団体との連携を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント等の情報収集。</li> <li>・「enjoyバスケ」の指導者によるバスケットの指導及び運動療育支援</li> <li>・町内や「さが山の学校」で開催されるイベントの参加</li> <li>・町内の散策（地元の神社へ初詣、駅、公園散策など）</li> </ul> 地域資源を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の活用</li> <li>・バスケットを主としたスポーツ療育を通して地域の方々との交流を図っていきたい。</li> <li>・中山間地域の自然の中で、遊ぶ・学ぶ機会を作り、生きる力を育てていきたい。</li> </ul>
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報伝達は職員間で口頭により行っているが、記録が残されておらず、勤務時間の違いもあり、全員に周知できていないことがある。	伝達したことが全員に周知されずにいる場合がある。会議録や情報共有したいことの記録を残せずにいる。伝言ノートの活用ができずにいる。	職員間の情報共有や全体把握に課題があるため、今後は定期的なミーティングの実施や情報共有の仕組みづくりを行い、職員全体で共通認識を持って支援にあたる体制の構築を進めてまいります。 また、職員確保に努め、安定した運営体制の確立を図ってまいります。
2	教室の広さが設置基準は満たしているものの、場面によって、また複数児童が時間差で別の活動を行うには、狭さを感じてしまう。	2教室をそれぞれ児童発達支援・放課後等デイサービスと分けて使用していた。教室の使い方を再検討する必要がある。	放課後等デイサービスにおいては、児童の特性に応じた活動スペースの確保や環境面に課題が見られるため、今後は部屋の使い方や配置の見直しを行い、安全で落ち着いて過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。
3			